

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 電気化学工業株式会社

上場取引所 東

 コード番号 4061 URL <http://www.denka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川端 世輝

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長

(氏名) 大町 徹夫

TEL 03-5290-5511

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	67,315	△26.5	1,139	△77.9	14	△99.7	△84	—
21年3月期第1四半期	91,608	—	5,163	—	4,743	—	2,335	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△0.17	—
21年3月期第1四半期	4.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	381,305	150,339	38.8	301.25
21年3月期	377,912	150,142	39.1	300.60

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 147,916百万円 21年3月期 147,600百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	2.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	2.00	—	3.00 ～5.00	5.00 ～7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	141,000	△27.6	3,500	△68.0	1,500	△82.9	1,000	△80.4	2.04
通期	292,000	△12.6	12,000	16.5	8,000	158.6	5,000	247.5	10.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名 デンカケミカルズホールディングスア) 除外 1社 (社名
ジアパシフィックP.L.))

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	505,818,645株	21年3月期	505,818,645株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	14,813,202株	21年3月期	14,801,250株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	491,008,558株	21年3月期第1四半期	497,472,584株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、在庫調整の一巡や対外経済環境の改善などにより生産や輸出に持ち直しの動きが見られましたが、個人消費や民間需要は引き続き低迷し、景気は厳しい状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは、前年度後半の大幅な落ち込みからの回復を目指して国内外での拡販に努めましたが、売上高は673億15百万円と前年同期に比べ242億92百万円(26.5%)の減収となりました。半導体産業向けの需要の回復や輸出の増加などの動きがありましたが、前年同期の水準には至りませんでした。

収益面では、適正な販売価格の維持や是正、固定費の削減に注力しましたが、販売数量減少の影響が大きく、営業利益は11億39百万円(前年同期比40億23百万円減、77.9%減益)、経常利益は14百万円(前年同期比47億28百万円減、99.7%減益)となり、四半期純利益は84百万円の損失(前年同期比24億19百万円減益)となりました。

<有機系素材事業>

当事業の売上高は264億77百万円と前年同期に比べ164億2百万円(38.3%)の減収となりました。販売数量が減少したほか、原料価格下落にともなって販売価格が下落し、大幅な減収となりました。

スチレンモノマーは販売価格の下落により減収となりました。AS、ABS樹脂は販売数量の減少および販売価格の下落により減収となりました。特殊樹脂“クリアレン”の販売数量は前年同期並みとなりましたが、販売価格が下落し減収となりました。酢酸ビニルやポパールは販売数量が増加しましたが、販売価格が下落し減収となりました。クロロプレンゴムは販売数量の減少および販売価格の下落により減収となりました。

<無機系素材事業>

当事業の売上高は103億4百万円と前年同期に比べ24億76百万円(19.4%)の減収となりました。

肥料は新肥料年度からの値下がりを見込んだ需要減などにより販売数量が減少し大幅な減収となりました。耐火物、鉄鋼用材料は需要が低迷し減収となりました。セメントは公共投資や民需の低迷が続いており販売数量が減少し減収となりましたが、製品価格は是正が進みました。特殊混和材はNATM吹付けコンクリート用急結剤“ナトミック”の販売数量が増加し増収となりました。

<電子材料事業>

当事業の売上高は78億32百万円と前年同期に比べ34億4百万円(30.3%)の減収となりました。

電子回路基板は電鉄向けの販売数量が順調に増加しましたが、産業機器向けが低調となり減収となりました。半導体封止材向け球状溶融シリカフィラーや電子部品、半導体の搬送資材である“デンカサーモシートEC・クリアレンシートC”などの電子包材は販売数量が減少し減収となりました。構造用接着剤“ハードロック”やデナールシラン株式会社のモノシランガスは需要が低迷し減収となりました。

<機能・加工製品事業>

当事業の売上高は150億40百万円と前年同期に比べ2億83百万円(1.9%)の増収となりました。

合繊かつら用原糸“トヨカロン”はアフリカ諸国向けの輸出が減少し減収となりました。耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”は販売数量が減少し減収となりました。食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品は順調に推移しました。医薬では、関節機能改善剤(高分子ヒアルロン酸製剤)は販売数量が順調に増加し増収となりました。デンカ生研株式会社は、インフルエンザ検査試薬の販売数量が増加したほか化学発光試薬および輸出が順調に推移し増収となりました。

<その他事業>

当事業の売上高は76億60百万円と前年同期に比べ22億94百万円(23.0%)の減収となりました。

菱三商事株式会社などの商社は需要低迷により取扱量が減少し、全般的に販売が低調となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億93百万円増加して3,813億5百万円となりました。需要回復による売上債権増加などにより流動資産は前連結会計年度末比40億54百万円増加の1,269億16百万円となりました。固定資産は、株式市況の上昇により投資有価証券評価額が増加しましたが、有形固定資産の減価償却などにより前連結会計年度末比6億61百万円減少の2,543億88百万円となりました。

負債は、需要回復による仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ31億97百万円増加して2,309億66百万円となりました。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加して1,503億39百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.1%から38.8%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末の300円60銭から301円25銭となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間より、デンカケミカルズホールディングスアジアパシフィックP.L.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,061	6,126
受取手形及び売掛金	57,914	55,396
商品及び製品	32,561	35,732
仕掛品	2,697	1,078
原材料及び貯蔵品	11,293	12,162
繰延税金資産	1,450	1,140
その他	12,199	11,478
貸倒引当金	△263	△253
流動資産合計	126,916	122,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,323	46,153
機械装置及び運搬具(純額)	70,998	73,854
工具、器具及び備品(純額)	2,529	2,686
土地	61,086	61,085
リース資産(純額)	107	86
建設仮勘定	19,536	18,443
有形固定資産合計	199,581	202,310
無形固定資産		
特許権	28	31
ソフトウェア	1,205	1,373
のれん	3,057	3,261
その他	273	290
無形固定資産合計	4,565	4,956
投資その他の資産		
投資有価証券	37,019	34,036
長期貸付金	333	5
繰延税金資産	1,332	2,152
その他	11,844	11,877
貸倒引当金	△288	△288
投資その他の資産合計	50,241	47,782
固定資産合計	254,388	255,049
資産合計	381,305	377,912

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,458	27,246
短期借入金	47,307	43,297
コマーシャル・ペーパー	14,000	11,000
1年内返済予定の長期借入金	5,064	6,433
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	792	1,040
未払消費税等	229	—
繰延税金負債	12	0
賞与引当金	3,560	2,015
その他	27,586	36,001
流動負債合計	141,010	137,034
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	43,706	45,034
繰延税金負債	62	36
再評価に係る繰延税金負債	10,994	10,994
退職給付引当金	6,690	6,020
競争法関連費用引当金	7,390	7,390
その他	1,111	1,257
固定負債合計	89,955	90,734
負債合計	230,966	227,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,303	49,303
利益剰余金	55,454	56,581
自己株式	△3,642	△3,697
株主資本合計	138,113	139,186
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,239	2,314
土地再評価差額金	7,610	7,610
為替換算調整勘定	△2,046	△1,510
評価・換算差額等合計	9,802	8,414
少数株主持分	2,422	2,542
純資産合計	150,339	150,142
負債純資産合計	381,305	377,912

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	91,608	67,315
売上原価	73,419	53,926
売上総利益	18,188	13,388
販売費及び一般管理費	13,025	12,249
営業利益	5,163	1,139
営業外収益		
受取利息	32	19
受取配当金	624	285
為替差益	363	6
その他	163	50
営業外収益合計	1,183	361
営業外費用		
支払利息	410	425
持分法による投資損失	305	141
操業休止等経費	—	338
その他	887	580
営業外費用合計	1,603	1,485
経常利益	4,743	14
税金等調整前四半期純利益	4,743	14
法人税、住民税及び事業税	2,287	121
少数株主利益又は少数株主損失(△)	120	△22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,335	△84

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,743	14
減価償却費	4,736	5,144
のれん償却額	199	201
負ののれん償却額	△29	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,543	1,544
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	564	669
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	9
受取利息及び受取配当金	△656	△305
支払利息	410	425
持分法による投資損益 (△は益)	305	141
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	12	68
売上債権の増減額 (△は増加)	7,323	△2,568
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,310	2,337
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,279	5,237
その他	△156	△3,366
小計	5,384	9,545
利息及び配当金の受取額	695	382
利息の支払額	△480	△426
法人税等の支払額	△3,467	△1,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,131	8,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,555	△8,931
無形固定資産の取得による支出	△7	△12
投資有価証券の取得による支出	△702	△49
投資有価証券の売却による収入	23	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	124	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△26	—
その他	△390	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,533	△9,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,148	6,103
長期借入金の返済による支出	△795	△1,592
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△2,453	△982
少数株主への配当金の支払額	△128	△31
その他	△10	78
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,759	3,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,407	2,932
現金及び現金同等物の期首残高	3,162	6,077
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△27	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,543	9,010

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	有機系 素材事業 (百万円)	無機系 素材事業 (百万円)	電子材料 事業 (百万円)	機能・ 加工製品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	42,879	12,780	11,236	14,756	9,954	91,608	—	91,608
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36	4	0	63	1,049	1,155	(1,155)	—
計	42,916	12,785	11,237	14,819	11,004	92,763	(1,155)	91,608
営業利益	1,566	714	1,957	687	220	5,146	16	5,163

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	有機系 素材事業 (百万円)	無機系 素材事業 (百万円)	電子材料 事業 (百万円)	機能・ 加工製品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	26,477	10,304	7,832	15,040	7,660	67,315	—	67,315
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20	7	—	58	1,240	1,327	(1,327)	—
計	26,498	10,312	7,832	15,098	8,901	68,642	(1,327)	67,315
営業利益 (又は営業損失)	(1,103)	152	590	1,443	53	1,135	3	1,139

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
有機系素材事業	スチレンモノマー、ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、クリアレン、耐熱・透明樹脂、酢酸、酢ビ、ポパール、クロロブレンゴム、アセチレンブラック 他
無機系素材事業	肥料、カーバイド、耐火物、セメント、特殊混和材 他
電子材料事業	溶融シリカ、電子回路基板、ファインセラミックス、電子包装材料 他
機能・加工製品事業	食品包装材料、ワクチン、関節機能改善剤、診断薬、住設・環境資材、産業資材 他
その他事業	プラントエンジニアリング 他

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	19,520	6,586	26,106
II 連結売上高（百万円）	—	—	91,608
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	21.3	7.2	28.5

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	12,122	4,197	16,319
II 連結売上高（百万円）	—	—	67,315
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	18.0	6.2	24.2

（注）1. 国又は地域は物理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・中国、韓国、マレーシア、インドネシア、台湾、中近東他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。